

時機に、民権運動の遊説活動をますます困難にする大事件が起った。

五月十四日、政府の実力者であり、参議兼内務郷の大久保利通が、参朝の途申、紀尾井坂清水谷の辺で、島田一郎等石川県の士族六人によって刺された。

報知社は勿論、世の中は一時騒然となったが、この事

件を契機に、政府の民間の志士に対する監視は厳しく、

民衆は遊説隊員に会うことさえ避ける有様であった。

西南戦争後の民権運動は、怒濤の如く全国に押し寄せ、時勢は急速に変化しつゝあったが、今度はその民権運動を唱える矢野が、一転して政府部内に入ることになるから、歴史の推移は皮肉なものである。

表紙解説

木造狛犬

こま いぬ

米水津村立岩神社蔵

製作年代不明 推定江戸時代 高さ約四十 cm 彩色

石造狛犬は佐伯市南郡に多く見られるが、木造狛犬は非常に少ない。希少価値の高いものである。(軸丸氏)

中国では秦・漢の頃より建築物や墳墓の前に獅子形を立てる風習があり、これが朝鮮及び日本にも伝わって来た。日本ではこれを唐獅子とか狛犬とかいう。中国渡来あるいは高麗の犬という意味であろう。左右一組のもの

を総称して獅子または狛犬といい、あるいは左を獅子、右を狛犬と呼ぶこともある。

大化前代に日本に伝来し、守護と装飾を兼ね、はじめは宮殿に置かれ、後に神社の内殿から外陣・門前・鳥居付近にすえられ、また寺院にも用いられるようになった。素材は木・石・鉄・陶などいろいろある。左は閉口、右は開口している。開閉口を阿吽あうんになぞらえ、陰陽をあらわすというのは、仏教の所説によるものである。

左の獅子は身体金色・毛髪緑青、右の狛犬は身体銀色毛髪群青に塗られる。(日本歴史大辞典) 塩月記